

[ 国体について ]

9/30、10/1、福井国体に大分は成年男子、女子が九州ブロック予選を勝ち抜き、出場権獲得、初戦にのぞみました。(少年男子は最終戦アディショナルタイムに鹿児島に追いつかれ、1-1。残念ながら総得点の差で出場権を逸しておりました。)

成年男子は1回戦0-0ながらPK戦で勝利し、9年ぶりにサッカー競技として、ポイント(20点)を獲得し、チーム大分に貢献してくれました。残念ながら準々決勝では東京に0-2で敗退、女子も健闘しましたが、1回戦神奈川に0-3で敗退しました。

結局、成年男子は優勝福井、準優勝東京、3位宮崎、女子は優勝三重、準優勝岡山、3位愛媛という結果でした。47FAはそれぞれが強化をはかり、全国的にレベルアップしているため、簡単にはいきません。

それぞれの試合を観戦、応援しましたが、成年男子は紙一重、しかし、勝ちきるだけの勝負強さが必要で、隣県宮崎は毎年好結果を出しています。女子の神奈川代表はなでしこ2部の選手で構成され、個に優れた選手がいたため、決定力で差が出ましたが、大分もパスワークで対抗、最後まで死力を尽くした頑張りに感動させられました。

女子に関しては2022年栃木国体より少年女子(U-16)が創設されることが決定しました。これに伴い、同大会から成年男子と成年女子は隔年開催となります。(表①を参照ください)

(表①) <開催県における実施種別>

第77回大会 (2022年 栃木県)	成年男子、少年男子、少年女子
第78回大会 (2023年 佐賀県)	成年女子、少年男子、少年女子
第79回大会 (2024年 滋賀県)	成年男子、少年男子、少年女子
第80回大会 (2025年 青森県)	成年女子、少年男子、少年女子
第81回大会 (2026年 宮崎県)	成年男子、少年男子、少年女子

<種別と参加人数>

現行	チーム数	監督	選手	合計
成年男子	16	1	15	256
少年男子	24	1	16	408
女子	16	1	15	256
合計	56			920



変更後	チーム数	監督	選手	合計
成年男女	16	1	15	256
少年男子	24	1	16	408
少年女子	16	1	15	256
合計	56			920

4年後という今この小学6年生が対象です。大分でも女子選手の育成、中学年代での受け皿（チーム）作りが急務となります。女子委員会と高松女子育成コーディネーターが共同で具体的なプランを早急に実行することが望まれます。

[ 育成大分復活に向けて ]

国体、少年男子が九州ブロック国体で敗退しましたが、この種別でも2009年新潟国体以来、全国での結果を出せていません。

キッズ、ジュニアから大分の優れたトレセン制度をより有効に活用し、トリニータを始め、各クラブ、高校へ優秀な選手を導くよう、もう一度そのシステムを皆で考える必要があります。

このたび、Jクラブなどがプロ契約を結んだ選手の出身クラブ、学校に対して支払うトレーニング費用制度が変更され、支払いの対象が3種、4種まで拡大され、義務化されました。

(表②を参照してください)

(表②) <大卒選手>

	現行	変更後		
小学校 (4種)	対象外	J1:10万円	J2:5万円	J3/JFL他:0
中学校 (3種)	対象外	J1:30万円 (10万円×3年)	J2:15万円 (5万円×3年)	J3/JFL他:0
高校 (2種)	45万円 (15万円×3年)	J1:45万円 (15万円×3年)	J2:30万円 (10万円×3年)	J3/JFL他:15万円 (5万円×3年)
大学	120万円 (30万円×4年)	J1:120万円 (30万円×4年)	J2:80万円 (20万円×4年)	J3/JFL他:20万円 (5万円×4年)
合計	165万円 ※J1、J2、J3/ JFL他共通	J1:205万円	J2:130万円	J3/JFL他: 35万円

<高卒選手>

	現行	変更後		
小学校 (4種)	対象外	J1:10万円	J2:5万円	J3/JFL他:0
中学校 (3種)	対象外	J1:30万円 (10万円×3年)	J2:15万円 (5万円×3年)	J3/JFL他:0
高校 (2種)	90万円 (30万円×3年)	J1:90万円 (30万円×3年)	J2:60万円 (20万円×3年)	J3/JFL他:15万円 (5万円×3年)
合計	90万円 ※J1、J2、J3/ JFL他共通	J1:130万円	J2:80万円	J3/JFL他: 15万円

小学校、中学校などで育てた選手がJリーグでプロ契約を結ぶとその育成に対して、費用が支払われ、次の活動の財政的支援となります。大分では県全体で育成システムを考え、充実させたいと考えています。

#### [ 県トレセン拠点構想 ]

県トレセン委員会では県トレセンの下部に地域トレセンを設置し、よりレベルの高い指導を行うことを目指し、県内各地域の技術委員会とその改革に取り組んでいます。

県協会としてはこれに加えて県トレセン拠点構想を検討しています。これは現在、毎月第4土曜日に行われている県トレセン練習会を現在の各グラウンド分散ではなく、県スポーツ公園に全て（男子、女子全カテゴリー）を集結して行えないかというものです。現在男子5カテゴリー、女子1、計6カテゴリーが練習するとなると3~4面グラウンドが必要となり、A、B、CそれにDグラウンドも加え、時間をずらすことによって何とか実現できないか、今後各方面との接衝が必要となるでしょう。

しかし、拠点開催が実現すると指導者、審判が一同に会することによる研修効果、様々な会議なども可能になるでしょう。何より、選抜され、大分県サッカーの拠点で練習できる、トリニータの選手などにも触れ合えるという絶好の環境を若い選手に提供することが出来、モチベーションの向上に抜群の効果が期待出来ます。

グラウンド確保には各種別の全国、九州、県内大会など既存の大会より優先させて頂けるよう理解を求める努力が今後必要となりますが、時間をかけて何とか実現したいと考えています。

#### [ キリンチャレンジ大分大会 ]

11月16日には日本代表 vs ベネズエラの試合が大銀ドームで開催されます。大分(九州)では3年半ぶりの日本代表戦となります。

新生、森保ジャパンの試合を皆（特に育成選手）で観戦し、世界基準のサッカーを体感、そして大分にビッグスタジアムがあることに感謝し、その舞台で大分出身選手が活躍することを目指して、日々の活動に続けていきましょう。

34,000人満員のスタジアムで大分の熱気が全国に伝わるよう、チケット販売、動員にも是非、御協力をよろしくお願い致します。